



福井県 留学生 だより 2022

福井県留学生交流推進協議会





巻頭言

1

「福井の高等教育機関で学ぶ留学生の支援」

福井県留学生交流推進協議会副会長 福井県立大学長 岩崎 行玄

留学生の声

2

「日本へ留学してよかったです」 福井工業高等専門学校 MASHBAT MANDUKHAI (モンゴル)

「日の出の国に住む夢」 福井県医療福祉専門学校 REMOLA FEAH JOYCE QUIMPO (フィリピン)

交流活動

4

公益社団法人ふくい市民国際交流協会

独立行政法人国際協力機構北陸センター (JICA 北陸)

活動スナップ

地域交流状況

寄稿

9

「福井大学のグローバル人材育成の取組と福井県留学生交流推進協議会への期待」

福井県留学生交流推進協議会運営委員 福井大学副学長（国際担当） 明石 行生

留学生交流推進協議会

10

福井県留学生交流推進協議会の活動

福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

留学生関係資料

12

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

福井の高等教育機関で学ぶ留学生の支援

福井県留学生交流推進協議会副会長

福井県立大学長 岩崎 行玄



福井県立大学は、日本人学生と多様な国からの留学生が、可能な限り英語で意思疎通を図る交流スペースとして、World CaféとOcean's Xを設置し、今年で11年になります。これらの交流スペースでは、英語ネイティブのインストラクターによる英会話の練習、学生同士の親交の深化、留学生の母国語による語学勉強会、留学生歓迎会・ハロウィン・クリスマス会等のイベント開催など、多様な活動を行っています。このスペースは、海外への留学情報、各種英語試験や海外ボランティアに興味を持つ学生諸君への情報提供の場としての機能も果たせるようになりました。日本人学生と多様な国からの留学生が、和やかに談笑している姿を見ると、国際交流の促進は可能であろうと確信できます。World CaféとOcean's Xは、福井県立大学のグローバル化を具現する最も重要な企画の1つになりました。



さて、福井県の高等教育機関に集う留学生の方々に目を向けると、日本人学生と共に学び、充実感を持って卒業し、ある方々は母国に帰り、ある方々は日本で職を得、いずれにしても、留学生の方々が、福井県を第2の故郷と考えていただき、末永く日本人学生と親交を続け、良好な人間関係が続くことを願うばかりです。時代はグローバル化で、情報のやり取りは加速度的に便利になっていますが、信頼関係の出発は、相手を知る事と思います。人間関係の構築は、一緒に学ぶ、一緒に活動する、一緒に暮らすことで徐々に深まっていくはずです。県内の高等教育機関は、探求学習、フィールドワーク、ゼミ活動、卒業研究、クラブ・サークル活動などの体験学習の場を備えているので、留学生の皆さんが積極的に参加することを期待します。別の視点からは、「福井県の高等教育機関が、留学生を介して、アジアを中心に、世界とのネットワークセンター」として機能することを期待します。

留学生の受け入れの重要さは、たくさんの留学生に訪日していただき、満足度を上げることだけでなく、共に学ぶ日本人学生自身が、多数の国籍の留学生と友好を深め、相手の文化を知り、相違を認識し、彼らから信頼を得、結果としてアジアに強くなり、生涯にわたり、留学生諸君とリアルな情報交換ができることもあります。すなわち、留学生諸君は、日本人学生の国際化・グローバル化のキーパーソンで、簡単に言えば、国際化に向けた先生でもあります。留学生と日本人学生が、共に、就職後、

自身の企業・公官庁等において、多文化交流の経験を生かした行動ができ、高等教育機関での異文化交流の経験を踏まえ、自身の思考範囲を広げ、結果として、職場でのトラブルを解決し（あるいは減少し）、その延長線上で、諸外国との相互理解を深め、企業も自治体も発展する構図を生みます。自分の経験からも、多文化を理解し、受け入れる能力は、肌感覚で体得しないと得られないと確信しています。

福井県内の大学等（福井大学、福井県立大学、敦賀市立看護大学、福井工業大学、仁愛大学、福井医療大学、仁愛女子短期大学および福井工業高等専門学校）の令和4年5月時点での経費別留学生の内訳は、国費が20名、外国政府派遣が36名、私費が225名、合計281名です。この結果より、福井県内の大学等の留学生の受け入れは、私費留学生に大きく依存していることがわかります。私費留学生の生活力は、家庭の経済力に依存し、彼らの学力だけでは済まないことに、大きな壁があります。家族から離れ、外国で学ぶ学生にとって、入学金、授業料、住居費、食費の総額は、死活問題です。一方で、学業の時間確保のため、彼らは、日本国内で、働く時間数が限られています。円安は、海外からの仕送りが楽になりますので、歓迎と思いますが、現状、家庭からの仕送りが期待できる留学生は多くなく、ギリギリの生活を余儀なくされている学生が多いと予想します。アルバイトを軸に、学生生活を計画することは、留学生が、クラブ・サークル活動、地域との交流活動等を通じた活動に時間がとりにくいため、本来、るべき友情・信頼関係の構築というような国際交流の基盤づくりができないので、達成目標が矮小化します。

留学生のライフラインを守るためにには、宿舎の確保、奨学金の拡充、優秀な学生への授業料減免、特待生制度の活用などが有効と考えます。コロナ禍で、日本そのものも困窮し、日本人学生も困窮しているなかで、留学生まではウイングを十分に広げられないのは、わからないわけではない。「同胞が苦しいときに、外国人か?」という意見もあるうと思います。しかし、農作物を育てる時、水やりは、発芽から収穫まで、コンスタントにあげなければ、完結しないように、文化交流は、短期イベントでは続かない性格のものです。このように考えれば、留学生への多面的な支援は、実は、若い日本人学生の文化的な開花の礎となり、未来への自治体や国の存続に、必須の要素だと思います。やめるときも、健やかなるときも、留学生による国内学生の開花を期待し、可能な支援を希望します。

日本へ留学してよかったです

福井工業高等専門学校 物質工学科 5年

MASHBAT MANDUKHAI (モンゴル)



海のない国で生まれ育った私は、まさか日本に留学するとは夢にも思いませんでした。母国モンゴルで大学を卒業し、友達と同じ場所で就職し、家族と一緒に暮らしていくことを想像していました。今考えたら、いつから日本に留学すると決めたのでしょうか？やはり、留学選抜試験に合格して日本へ留学している素晴らしい先輩たちに憧れた高校生のときからだと思います。先輩たちから日本での生活や面白い出来事などの話を聞き、いつの間にか「私も絶対この試験に合格して日本へ留学します！」と思うようになっていました。高校生の私は、そんな思いを持ち留学選抜試験の勉強を熱心にやり始めました。1年間ずっと勉強を続けた結果、試験に合格することができ、日本へ留学することになりました。合格するまで続けた努力や、色々感じた気持ちは何よりも貴重な経験になったと思います。日本へ留学することになった私はとても喜んでいましたが、実はそれなりに緊張していました。家族から離れ、外国で暮らすことは初めてなので、お金の管理、日本語能力、異文化、ホームシックなど心配することが多くありました。その時、留学するって簡単なことじゃないねと思いました。

東京で日本語学校に通い、色々な国からの留学生と友達になりました。日本だけでなくお互いの国についても色々学びながら一緒に日本での生活に慣れてきました。ある日、授業中いきなり地面が強く揺れ始め、先生から机の下に入るように言われました。私はモンゴルで地震を体験したことがなかったため、とても緊張し、これで死んでしまうのかと思ってしまいました。しかし、先生は全く緊張した様子も見せず、落ち着いたまま私たちに指示していたところを見て、とても驚きました。モンゴルでは地震があり起こらないため、日本人の地震や台風などの災害に対する素晴らしい行動を見て、もし母国で地震が起きたらモンゴル人がどう対応するかなと考えました。地震や台風などの災害だけでなく、何にでも対応できる日本人から学ぶことがどれほど多いかと感じています。

福井工業高等専門学校 3年次に編入した時、新型コロナウイルスが発生していました。もう外出できなくなり、対面授業がオンライン授業となり、色々な部活動やイベントが中止となりました。学生寮が閉まり、日本人の寮生が来られなくなり、寮の部屋で4ヶ月ぐらい一人で暮らしました。最初は色々困ったことがありました。先生たちや他の学生がサポートしてくれたおかげで、問題なく学生生活を送ることができました。優しい人たちに囲まれて、とても感謝しています。福井高専に来てから専門的な知識や能力を十分に身につけることができました。それだけでな

く、日本人の友達ができ、日本の文化、伝統をより深く学びました。高専の留学生研修旅行で福井県立恐竜博物館、東尋坊といった福井県の有名な観光地に行ったり、美味しい海鮮料理を食べたりして福井の歴史や文化を理解する機会が与えられました。また、高専や福井で留学生として国の紹介をすることが多く、母国のことよりも良くわかるようになりました。他の留学生と一緒に高専祭で国際ドリンクの露店を営業し、高専生のみんなに国の飲み物を紹介したことも楽しい思い出になりました。

鯖江市国際交流協会を通して、市内で実施される外国人交流会や登山などのイベントに参加した時、日本人の他人や自然に対する思いやりに感銘を受けました。私は休日に鯖江市の三床山に登り、頂上で弁当を食べながら周りの景色を見ることが好きです。山に囲まれ、豊かな自然環境を有する福井が母国モンゴルのように感じる時もありました。

留学することは、良い教育を受けることだけではなく、多様な経験を積み、人生を豊かにする機会だと思います。日本に来てから自分が多面的に成長できたを感じています。来年から東京の大学に進学することになりましたが、高専で学んだことや福井で感じた思いを活かしてさらに学び続け、母国や日本に貢献できる人材として成長していきたいです。

海のない国で生まれ育った私はいつも日本に留学して良かったと思っています。



日の出の国に住む夢

福井県医療福祉専門学校 こども・介護学科 介護福祉士コース 1年
REMOLA FEAH JOYCE QUIMPO（フィリピン）



私は、日本のあらゆるものが大好きです。私の国では、エンターテイメントからテクノロジー、ロボットのアニメがカワイイの代名詞となっており、誰もが日本に畏敬の念を抱くようになります。私が小学生の頃、ONE PIECE やドラえもんなどの日本のアニメに夢中になっていました。私の子供時代に、これらの親しみやすいキャラクターのショーが影響を与えてくれました。日本のアニメは、若者を中心に楽しませ、友情の大切さや夢を追うことを教えてくれました。私が、日本の暮らしを体験したいと思うようになったのは、このことが大きな影響を与えたと言えます。しかし、この夢が実現するとは思っていませんでした。

私が、日本に来るきっかけになったのは、フィリピンで日本人教師が紹介してくれたプログラムに応募したことから始まりました。現在、日本に来て二年近く経った今、福井県医療福祉専門学校の1年生として「介護」について学んでいます。専門学校に入る前に、福井ランゲージアカデミーで外国人の仲間と一緒に、日本語の勉強をしました。コロナウイルスの影響で交流する機会が少ないなか、日本の方と触れ合う機会をえてくださいり、その時にフィリピンのことを紹介することができました。様々な珍味や伝統を紹介した時の日本の方の表情は、私が日本の伝統に出会った時の表情と同じで、驚きと好奇心がありました。何か新しいことを学べば、誰もが共感できるという気持ちです。私は現在、高齢者施設でケアワーカーのアルバイトをしていますが同じ気持ちを抱いています。アルバイトをしていくなかで、「介護」に対して色々なことを学びたいという興味が深まりました。アルバイトを始めた数ヶ月は、私の日本語力ではお年寄りとうまく関わりがもてないのではないかと不安が募りましたが、コミュニケーションは話すことだけではないことを学びました。表現やボディランゲージ

など様々なものが混ざり合っています。学校に通うことで、介護に関する様々な知識を身につけ、自分を豊かにすることができます。それだけではなく、日本人の同級生を通じて日本の文化を学ぶことができます。

先生方も私たち留学生が勉強している科目の内容を理解しやすいように漢字にふりがなを入れる、日本語の文法や外国人向けの介護の授業を追加するなどの工夫をしてくれています。

以前、「学校とアルバイトの両立は大変ですか。他の国で生活するのは大変ですか。」のような質問をされたことがあります。私は「はい」と答えました。両立は大変です。家族や友人、慣れ親しんだ環境から遠く離れてしまいます。しかし、これは貴重な経験です。海外での生活は人生において大きな価値があると思います。留学には大きなリスクがありますが、海外での生活に伴う新しいことや不確実性を受け入れようすることは自分の意志にかかっています。日本に来て今まで気づかなかった些細なことに気がつくようになりました。自国の文化と自分を取り巻く新しい文化との類似点や相違点を知り、当たり前のことだと考えがちなことも、日常のささやかなことも愛らしいことに気づき始めました。福井は、私の第二の故郷になりました。福井では、いろいろな場所や国の友人たちが私の家族になりました。福井を紹介されてよかったです。これからも、日本で夢に向かって生きていけることができてワクワクしています。これから、何が起きるかは分かりませんが、私は正面から逃げ出さずに向き合っていこうと思います。もし、私のようにチャンスをつかみたいのであれば、「がんばろう」と言います。人生は一度しかありません。世界には見るべきものがたくさんあります。機会がありましたら、ぜひ日本の福井にお越し下さい。



公益社団法人 ふくい市民国際交流協会

HP fcia.jpFB facebook.com/fukuikokusai

ふくい市民国際交流協会は、市民レベルの国際交流を推進する中核組織として、1996年（平成8年）7月に発足して以来、市民参加による交流を基調として福井市の国際交流並びに多文化共生社会の伸展に寄与する活動を行っております。

当協会の事業は「姉妹友好都市交流事業」と「多文化共生交流事業」とに大別されます。

姉妹友好都市交流事業では、福井市の姉妹友好都市であるアメリカ ニューブランズウィック市、フラン市、中国杭州市、韓国水原市と、中学生ジュニア大使や市民訪問団の相互派遣事業、作品交流事業やオンラインでの交流事業を行っております。コロナ禍以降、人と人の行き来は長らく実現しませんでしたが、令和4年度は、10月に韓国水原市で開催された「華城文化祭」に福井市のヨサコイ団を派遣し、ようやく以前のようなオフラインでの交流活動ができるようになってきております。

多文化共生交流事業では、福井市内に住む外国人市民と日本人市民が互いのちがいを認めあい、対等な関わりを創造しあう多文化共生社会の実現をめざして、福井市多文化共生推進プランに基づいてさまざまな取り組みを行っておりますので、その中からいくつか紹介します。

「外国籍児童生徒サポート事業」では、福井市内の小中学校に在籍する外国につながりのある子どもたちをサポートしています。日本語指導ボランティアや通訳・翻訳ボランティアを市内の小中学校に派遣し、日本語初期指導や学校生活に対応するために必要な通訳をおこなっています。留学生が通訳ボランティアとして子どもたちをサポートすることもあります。また、月に2回、当協会会議室でサポートクラスを実施し、異なる学校に通う子どもたちが、学校の宿題をしたり、おしゃべりをしたり、ゲームをしたりしてにぎやかに集っています。

「交流型日本語教室事業（しゃべり場）」では、日本人市民と外国人市民がやさしい日本語で交流し、外国人市民には生きた日本語を身につける場を、また日本人市民には気軽に異文化交流する場を提供しています。しゃべり場にはたくさんの留学生も参加し、毎回楽しく交流しています。

また、外国人市民を対象に、日本の文化や習慣への理解を深めることを目的に実施している「日本文化体験学習事業」も留学生に人気のある事業です。令和4年度は、浴衣を着て養浩館庭園を散策したり、一乗谷朝倉氏遺跡で開催された「万灯夜」に参加し、ライトアップに使うカップに願い事を書いて並べたり、キャンドルの灯りでライトアップされた幻想的な会場内の雰囲気を楽しんだりしました。秋には、箒の体験講座も開催しています。

例年ハピテラスで開催している「グローバルフェスタ」は、令和4年度に3年ぶりにオフラインで開催することができます。

き、約3,600人が来場し、外国の歌や踊りのステージ、母国紹介ブースや、遊びコーナーなどで交流を楽しみました。このグローバルフェスタでは、留学生など外国人市民と日本人市民がボランティアとして携わり、ともに運営に汗を流しました。来年度以降も開催しますので、興味のある留学生のみなさんはぜひご参加ください。



「異文化理解地域交流事業」では、福井市内の公民館や児童館、デイホームなどに外国人市民を派遣し、地域住民との交流を通して異文化理解を促進しています。例年、留学生のみなさんも地域に出向き、母国紹介や、福井に来て驚いたことなどを話しながら、地域住民との温かい交流の時間を過ごしています。

また、「異文化理解推進事業」では、在住外国人ボランティアによる母国の文化紹介イベントや、料理・文化教室等を実施しています。令和4年度に開催した「夏休みワールドツアー」では、留学生を含む様々な国の人たちと小学生が外国の遊びや多言語での絵本の読み聞かせを通して交流しました。今後は、日本とは異なる国の文化や人々を身近に感じ、世界のいろいろな事柄に関心をもってもらうことを目的として、小学生を対象とした「ワールドkidsクラブ」を定期的に開催していく予定です。このクラブへの留学生のみなさんの参加も期待しているところです。



そして、外国人への防災意識の向上を目的とした「外国人の防災対策事業」では、福井市総合防災訓練に留学生を含む外国人市民とともに参加し、地域住民とともに避難所や防災備蓄倉庫、非常用貯水装置を見学し、地震体験や初期消火、煙中避難訓練などを行っています。その他にも、大雨や台風、大雪時には、市の災害連携情報をやさしい日本語に翻訳してSNSを通じて発信しています。



情報提供に関しては、福井市の広報紙「広報ふくい」の記事の一部をやさしい日本語に翻訳して発信することも行っています。こちらもSNS（協会FACEBOOK）で定期的にアップしていますのでご覧ください。

ふくい市民国際交流協会では、今後も市民が主体となり、日本人市民も外国人市民も共に安心して暮らせる地域づくりを目的として、多文化共生社会に向けて持続可能なさまざまな取り組みをしてまいりますので、留学生のみなさんもぜひご参画ください。



独立行政法人国際協力機構北陸センター(JICA北陸)

JICA 北陸は、北陸 3 県の「国際協力に関する相談窓口」として、国内外でできる国際協力活動や途上国そのための民間連携についてご相談にお応えしています。福井県にも JICA 福井デスクがあり、みなさまの身近な国際協力のサポート役として、様々な疑問・質問・相談に応じながら、地域の国際協力に取り組んでいます。

●草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は NGO、大学、地方自治体、公益法人などがこれまで培ってきた経験や技術を生かした、途上国の人々の生活に直接役立つ協力活動を JICA が支援する事業です。マラウイ共和国では、福井大学が 2022 年 12 月より「教師の専門職学習コミュニティネットワークの構築プロジェクト」を実施中です。同国では教員による一方的な知識伝達型の授業が主流となっていますが、子どもたちの多様な資質能力を伸ばすためには、協働的で探究的な授業への転換が不可欠です。本プロジェクトでは、同国のナリクレ教員養成大学及び附属学校を核として、探究的な授業実現のためのマルチスパイラルな授業研究を支える、教師の専門職学習コミュニティネットワークを構築するために必要な支援をおこなっています。



● JICA 海外協力隊事業

JICA では、これまで開発途上国に 5 万人以上の JICA 海外協力隊を派遣し、福井県から 300 人以上がアジア・中南米・アフリカ・大洋州等で活動してきました。福井デスクでは、JICA 海外協力隊経験者が派遣国の文化や現地での活動を紹介するイベントや座談会、パネル展等を実施しています。今年は「ニッケイ社会ってなに? ~ ブラジルと日本を繋ぐ地球の反対側のコミュニティ ~」と題し、ブラジルそして日系社会について学ぶイベントを実施しました。現地日系社会で活動した協力隊の体験談やサンバのダンス体験などを通じて、ブラジルを知り感じる機会となりました。



●研修員受入事業

JICA が行う研修員受入事業には、短期研修と長期研修があります。

短期研修には、共通の分野課題別に複数の国の参加を得て実施される「課題別研修」、特定国の開発課題を対象として実施する「国別研修」、発展途上国将来を担う青年層を対象として、各分野における日本の技術や知見を理解する「青年研修」などがあります。福井県では、数多くの教育分野の課題別研修、国別研修を実施しています。

一方長期研修は、大学院に入学し、修士／博士課程を通して、高度な技術や知識の習得を目指すプログラムです。長期研修の中には、インターンシップを行うプログラムがあり、福井県内の複数の企業がその受入を行っています。研修員は、インターンシップのなかで、日本の技術や企業文化を学ぶ機会を得ています。



プログラミングの教育について福井市内の IT 企業でインターンシップを行いました。

JICA 北陸の事業、イベント情報について、詳しくはこちらをご覧ください！



JICA 北陸
ホームページ



JICA 北陸
Facebook

活動スナップ



秋の和菓子つくり（ふくい市民国際交流協会）



通訳ボランティア研修会（ふくい市民国際交流協会）



外国人講師派遣（ふくい市民国際交流協会）



しゃべり場（ふくい市民国際交流協会）



福井のまち発見ツアー（ふくい市民国際交流協会）



浴衣で養浩館ウォーク（ふくい市民国際交流協会）



万灯夜ツアー（ふくい市民国際交流協会）



福井国際フェスティバル（福井県国際交流協会）



ハローワールド「ネパール」（福井県国際交流協会）



外国人留学生と県内企業の合同企業説明会（福井県国際交流協会）



ふくい外国人コミュニティリーダー 委嘱式（福井県国際交流協会）



おしゃべりサロン「台湾」（福井県国際交流協会）



おしゃべりサロン「ベトナム」（福井県国際交流協会）



日本語常設講座（福井県国際交流協会）



スポーツフェスティバル（大原学園福井校）



清掃活動（大原学園福井校）



もちつき体験（青池調理師専門学校日本語科）



体育大会（青池調理師専門学校日本語科）



書道体験（青池調理師専門学校日本語科）



消防訓練（青池調理師専門学校日本語科）



ボート体験（青池調理師専門学校日本語科）



新入留学生歓迎会（福井工業大学）



若狭ツーデーマーチ（福井工業大学）



そば打ち体験（福井工業大学）



紙すき体験（福井工業大学）



留学生研修旅行（福井工業高等専門学校）



留学生研修旅行（福井工業高等専門学校）



ゆめおーれ勝山（福井大学）



パビリス館（福井大学）



タケフナイフビレッジ（福井大学）



小柳箪笥出前講座（福井大学）



おらが村でも国際交流（福井県立大学）



白樺祭（福井県立大学）



日本語教室（福井県立大学）



留学生バスツアー（福井県立大学）

地域交流状況 留学生と地域との交流状況（令和3年10月～令和4年9月）

巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

事業名	主催者等	開催期間	事業名	主催者等	開催期間
日本語常設講座	公益財団法人福井県国際交流協会	通年	福井のまち発見ツアー	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月4日
越前海岸「呼鳥門」近辺清掃活動 (福井工業大学)	NPO法人マレーシア国際交流協会	10月16日	多言語化による観光用プロモーションビデオ制作のための池田町現地調査(福井工業大学)	池田町	6月4日～6月5日
しゃべり場「神様はどこ？」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	10月23日	越前海岸「呼鳥門」近辺清掃活動 (福井工業大学)	NPO法人マレーシア国際交流協会	6月11日
福井国際フェスティバル 2021	公益財団法人福井県国際交流協会	10月24日	しゃべり場「何を飲みますか？」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月12日
日本文化体験事業「秋の和菓子作り」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	10月30日	ふくい就活魅力ツアー(福井大学)	NPO法人マレーシア国際交流協会	6月17日～6月19日
しゃべり場「お天気いいね！」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月14日	外国人留学生と県内企業の合同企業説明会	公益財団法人福井県国際交流協会	6月18日
国際理解促進講座「ハローワールド」 (福井市秦小学校、ネパール紹介)	公益財団法人福井県国際交流協会	11月16日	福井市総合防災訓練	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	6月26日
通訳ボランティア研修会「足羽神社案内」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月20日	福井県友好大使	福井県産業労働部 国際経済課	7月4日
おらが村でも国際交流(福井県立大学)	松岡地区公民館	11月23日	小学生との交流会	福井県医療福祉専門学校 日本語学科	7月9日
令和3年度異文化理解講座(福井工業大学)	越前町国際交流協会	11月27日	桜木図書館への訪問	福井県医療福祉専門学校 日本語学科	7月9日
しゃべり場「紅葉の秋なに色？」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	11月27日	しゃべり場「ことばのマジック」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	7月10日
日本・マレーシア若者リーダー交流in福井 (福井大学)	NPO法人マレーシア国際交流協会	12月4日～12月12日	浴衣で養浩館ウォーク①	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	7月16日
Fukuiレポーターズ 委嘱式	福井県産業労働部 国際経済課	12月10日	おちゃんとサロン「台湾」	公益財団法人福井県国際交流協会	7月23日
しゃべり場「福井いいね」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	12月12日	浴衣で養浩館ウォーク②	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	7月24日
丸岡高校生と語る会(福井大学)	福井県立丸岡高等学校	12月14日	ワールドツアー	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	7月30日
令和3年度外国人留学生との懇談会 (鯖江市国際交流協会との交流)	福井工業高等専門学校	12月21日	令和4年度外国人が暮らしやすい環境づくり事業 ふくい外国人コミュニティリーダー 委嘱式	公益財団法人福井県国際交流協会	7月30日
しゃべり場「クリスマスとお正月の過ごし方」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	12月25日	第35回 JAPAN TENT 世界留学生交流・いしかわ2022(福井大学)	JAPAN TENT開催委員会事務局	8月18日
しゃべり場「2月の日本の行事」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	2月13日	万灯夜ツアー	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	8月21日
福井県友好大使	福井県産業労働部 国際経済課	2月24日	しゃべり場「箸の使い方」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	8月27日
しゃべり場「防犯教室」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	5月8日	おちゃんとサロン「ベトナム」	公益財団法人福井県国際交流協会	8月27日
外国人講師派遣 (昭和幼稚園、マレーシア紹介)	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	5月18日	しゃべり場「満月」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	9月11日
専修学校フェスタ	福井県専修学校各種学校連合会	5月21日	竹田Tキャンプ(福井大学)	竹田Tキャンプ事務局	9月11日～9月12日
第30回 若狭・三方五湖ツーリーマーチ (福井工業大学)	若狭町総合戦略課 観光交流室	5月21日	国際理解促進講座「ハローワールド」 (福井市国見小学校、ベトナム紹介)	公益財団法人福井県国際交流協会	9月22日
しゃべり場「SDGs」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	5月28日	福井工業大学祭模擬店参加 (福井県医療福祉専門学校)	福井工業大学	9月23日
障害者スポーツ大会ボランティア活動 (福井県医療福祉専門学校)	福井県	5月29日	しゃべり場「これってどんな意味？」	公益社団法人ふくい市民国際交流協会	9月24日

福井大学のグローバル人材育成の取組と 福井県留学生交流推進協議会への期待

福井県留学生交流推進協議会運営委員
福井大学副学長（国際担当） 明石 行生



2022年10月29日（土）、福井県国際交流会館において福井北ロータリークラブと本学語学センターの共催で、佐々木かをり氏を講師に迎えて、「ダイバーシティー時代に活躍するグローバルリーダーになろう！」と題するセミナーを開催した（図1）。本学、福井県立大学、福井工業大学から、学生と教職員約80名が参加した。三大学の留学生と日本人学生にとって、グローバルリーダーになるための資質について学ぶとともに、他大学の学生と地域の方々と交流する有意義な機会になった。

周知のように、日本の18歳人口は、1992年をピークとして急激に減少している。文部科学省の中央教育審議会は、2040年に18歳人口は現在の70%程度になるため、教育の質の維持向上のために社会人と留学生の受け入れ拡大が必要であると答申した。大学では、優秀な留学生をリクルートして、地域定着できるようにグローバルリーダーに育成すると同時に、日本人学生を世界中の人々との交流を介して日本と世界に貢献できるようなグローバルリーダーに育成することが重要である。

文部科学省は、2022年7月26日に、「高等教育を軸としたグローバル政策の方向性」を発表した。そこには、外国人留学生の受入数と日本人学生の留学者数は、2018年から2019年をピークに、それ以降はコロナ禍の影響を受けて激減している様子が示されている。文部科学省はこれらの学生交流の数を5年以内に、少なくとも2019年の水準まで戻す計画である。また、大学がけん引する国際的な交流活動は、今後の日本の学術・産業分野の維持発展に不可欠であることが強調されている。

これに先立つ2021年4月、本学の上田学長は、福大ビジョン2040として、大学の未来像を「世界に通じる地方総合大学」として掲げ、その未来像を実現するために、世界水準の教育研究環境の実現、大学の国際化と国際交流の促進の重要性を挙げている。また同ビジョンでは、本学は、「福井と世界を結ぶゲートウェイ」を立ち位置として、優秀な外国人留学生を輩出して県内定着を促進することにより、地域の国際化を支援すると述べてている。これから6年間、留学生と日本人学生を国際的に活躍できるグローバルリーダーに育成することを教育の目的の一つに据え、その教育の拠点として、本学学生交流センター（図2）が2021年9月に竣工した。その1階には、セーレン株式会社からネーミングライツの支援を受けて、セーレングローバルハブ（図3）を設置した。スチューデントコーディネーターたちは、主体的にこのセーレングローバルハブを運営し、日本人学生と留学生にとって格好の交流の場になっている。

本学は、グローバルリーダー候補者獲得のために、まず、優秀な正規留学生を増やすことを目標とし、その達成のために留学生の大学生活における満足度を向上させることを戦略としている。これまで留学生を日本人学生と同様に扱うことが良いことと考えられてきたが、その結果、日本人学生の中に留学生が埋もれてしまい、正規留学生の要求に必ずしも応えられていない場合があったことは否めない。その状況の

改善のために、これからは留学生の声に耳を傾け、正規留学生を対象にフォーカスグループ・ディスカッションと満足度アンケートを行って、留学生に対するサービスの良し悪しの評価と向上に資する計画である。

日本人学生と留学生を問わず、グローバルリーダーとなるには、まず、①世界に通用する専門能力を身に着けることを優先すべきである。その結果、学生は、自信と忍耐力を得ることができると期待する。次に、②その専門能力で研究開発した技術や知見を発信する日本語と英語によるコミュニケーション能力を身に着け、さらに、表現力・交渉力・説得力を磨いていく必要がある。最後に、③日本人に欠けているダイバーシティ理解が重要である。そのためには、自國文化への深い理解と誇りを持ち、多様な文化と異なる価値観を理解し、それに適応できるようになることが不可欠である。もちろん、組織のリーダーになるには、マネジメント力や危機管理能力なども要求されるが、冒頭の佐々木氏の言葉を借りると、まず学生は、「自分のリーダー」になる素養を身に着けることを優先するべきであると考え、本学では①から③までの教育を重要視している。

このようなグローバルリーダーの育成のために、交換留学、短期留学、研究を通じた国際交流、グローバル人材育成の授業、国際共修セミナーなどの種々の国際化活動の機会を提供している。冒頭のセミナーもその一環として開催した。留学生には、これまで充実してきた日本語教育に加え、地域の産学官連携により、留学生向け企業インターンシップ、実践的な日本語クラス、グローバル人材育成のためのクラスなど留学生に対する実践教育を充実させる計画である。それによって、卒業後、福井県や日本に就職してくれる留学生を増やしたいと考えている。一方、日本人学生には、これまで重視してきたコミュニケーション能力向上のための英語教育に加えて、専門分野での英語によるプレゼンテーション能力向上のための教育が必要だと考え、2022年10月から、「グローバル・リーダーシップの開発」の授業を開始した。留学生にはこの科目を日本人学生とともに履修してくれることを期待している。さらに、国際通用性の程度を測るグローバル・コンピテンシー指標の運用と英語運用能力を測る検定試験の導入により、教育方法の評価と改善を継続する計画である。

最後に、本学に限らず地域の留学生と日本人学生には、グローバルリーダーになることを自分自身の目標として、大学や地域が提供するいろいろな催しに積極的に参加していただきたい。現在、これらの催しに自主的に参加する学生数は必ずしも多くはないため、今後は、ポイント制の導入やイベント参加の一部を単位化するなど、学生の参加を促す仕組みの構築が必要だと考えている。それには、冒頭の催しやセーレングローバルハブのように、地域の産学官連携や大学間連携が不可欠である。その意味でもこの福井県留学生交流推進協議会への期待はますます膨らんでいく。



(図1)



(図2)



(図3)

福井県留学生交流推進協議会の活動

令和3年度福井県留学生交流推進協議会定例総会が、会長の上田孝典福井大学長の進行のもと、推進協議会会員の出席を得て、令和3年12月16日(木)、福井大学文京キャンパスアカデミーホール集会室で開催されました。

総会は、会長の挨拶の後、会長を議長に選出し議事に入りました。主な内容は次のとおりです。

令和2年度活動報告

上田会長から次のような活動報告および決算報告が行われました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だより2020の発行

令和4年度活動計画

上田会長から次のような活動計画が提案され、いずれも異議なく承認されました。

1. 運営委員会・定例総会の開催
2. 「留学生救済援助金制度」による留学生への救済支援の実施
3. 福井県高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況調査の実施
4. 留学生体験発表の実施
5. 福井県留学生だよりの発行
6. 各種団体行事等の後援

議事終了後、福井県立大学 生物資源学部 生物資源学科 4年 ゲンティクインガさん(ベトナム)と福井大学 工学部 機械・システム工学科 ロボティクスコース 4年シャエンキンさん(中国)による体験発表が行われました。





福井県留学生交流推進協議会 会員・運営委員会名簿

巻頭言

留学生の声

交流活動

寄稿

推進協議会

留学生関係資料

令和4年11月現在

順不同：敬称略

福井県留学生交流推進協議会会員名簿

機関等名	長又は代表者	氏名
名古屋出入国在留管理局福井出張所	所長	五藤 武行
福井県	知事	杉本 達治
福井県教育委員会	教育長	豊北 欽一
福井市	市長	東村 新一
福井市教育委員会	教育長	吉川 雄二
福井県市長会	会長	東村 新一
福井県町村会	会長	杉本 博文
○ 福井商工会議所	会頭	八木 誠一郎
		林 正博
福井経済同友会	代表幹事	清川 肇
		吉田 真士
福井県経営者協会	会長	光野 稔
(公社)日本青年会議所北陸信越地区福井ブロック協議会	会長	新谷 大輔
福井県農業協同組合中央会	代表理事會長	富田 勇一
福井県経済団体連合会	会長	八木 誠一郎
公益財団法人 福井県国際交流協会	理事長	八木 誠一郎
NPO 法人福井県日本中国友好協会	会長	酒井 哲夫
福井日伊英米交流協会	会長	八木 誠一郎
福井県日韓親善協会	会長	八木 誠一郎
(一社)福井県医師会	会長	池端 幸彦
福井ロータリークラブ	会長	荻原 昭人
ライオンズクラブ国際協会 334-D 地区	地区ガバナー	戸祭 宏樹
福井県連合婦人会	会長	田村 洋子
福井県連合青年団	団長	岡井 里紗
国際ソロプロミスト福井	会長	山川 えり子
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	会長	青池 浩生
○ 福井県立大学	学長	岩崎 行玄
福井工業大学	学長	掛下 知行
福井県医療福祉専門学校	校長	栗原 美幸
仁愛大学	学長	田代 俊孝
仁愛女子短期大学	学長	禿 正宣
敦賀市立看護大学	学長	内布 敦子
福井医療大学	学長	山口 明夫
福井工業高等専門学校	校長	田村 隆弘
学校法人大原学園福井校	校長	大原 陵路
○ 福井大学	学長	上田 孝典

○印：会長

○印：副会長

福井県留学生交流推進協議会 運営委員会委員名簿

順不同：敬称略

機関等名	官職	氏名
福井県	産業労働部 国際経済課長	湯川 直
福井市	商工労働部観光文化局 おもてなし観光推進課 国際室長	高屋 雅樹
福井商工会議所	地域事業・観光振興課長	岩本 拓馬
公益財団法人福井県国際交流協会	専務理事	五十嵐 昌子
一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	事務局長	島田 英夫
※ 福井県立大学	教育・学生支援部 国際・留学支援課長	柴田 弥生
福井工業大学	国際交流課長	中谷 篤
福井県医療福祉専門学校	事務局次長	山本 成恵
仁愛大学	学生支援センター 次長	出村 友寛
仁愛女子短期大学	総合学務センター 学び支援課長	浅井 正信
敦賀市立看護大学	教務学生課長	山本 英司
福井医療大学	事務課事務室長	岩永 和也
※ 福井工業高等専門学校	学生課長	石山 隆三
学校法人大原学園福井校	総務部長	小倉 豪円
○ 福井大学	理事（教育、評価担当）/副学長	安田 年博
	副学長（国際担当）	明石 行生
	国際センター 副センター長	虎尾 憲史
	学務部長	青木 直美

○印：委員長

※印：監事

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

福井県高等教育機関における外国人留学生の受け入れ状況等

令和4年10月1日現在

1. 経費別留学生数

区分	機関名	福井大学	福井県立大学	福井工業大学	福井県医療福祉専門学校	仁愛大学	仁愛女子短期大学	敦賀市立看護大学	福井医療大学	福井工業高等専門学校	大原簿記法律専門学校福井校	大原スポーツ医療福祉専門学校	福井情報ITクリエイター専門学校	福井ホテルトラベル専門学校	若狭医療福祉専門学校	青池調理師専門学校	合計
国費		18	2							5							25
外国政府派遣	マレーシア政府派遣	26								2							28
	その他政府派遣	5		1						2							8
国際協力機構(JICA)																	0
私費		124	26	114	28							1		6	8	75	382
内(交換留学生)		(43)	(6)														49
合計		173	28	115	28	0	0	0	0	9	0	1	0	6	8	75	443

2. 国別留学生数

国名	機関名	福井大学	福井県立大学	福井工業大学	福井県医療福祉専門学校	仁愛大学	仁愛女子短期大学	敦賀市立看護大学	福井医療大学	福井工業高等専門学校	大原簿記法律専門学校福井校	大原スポーツ医療福祉専門学校	福井情報ITクリエイター専門学校	福井ホテルトラベル専門学校	若狭医療福祉専門学校	青池調理師専門学校	合計
インド		1 (1)															1 (1)
ネパール															1 (1)	18 (9)	19 (10)
バングラデシュ		5 (1)	1 (1)	2 (0)													8 (2)
ミャンマー		1 (1)		1 (0)													2 (1)
タイ		2 (1)		11 (5)						1 (1)							14 (7)
マレーシア		37 (16)	2 (2)	15 (2)						2 (0)							56 (20)
インドネシア		4 (1)	1 (0)	7 (3)	1 (1)												13 (5)
フィリピン		1 (0)	1 (0)		12 (10)										4 (4)	50 (50)	68 (64)
香港		1 (0)															1 (0)
韓国		23 (13)	2 (0)	1 (0)													26 (13)
モンゴル		1 (1)		2 (1)						3 (2)							6 (4)
ベトナム		4 (4)	4 (3)	38 (15)	13 (12)							1 (1)		3 (0)	3 (2)	7 (3)	73 (40)
中国		57 (15)	11 (5)	37 (6)	2 (2)									3 (0)			110 (28)
カンボジア		6 (3)								1 (0)							7 (3)
ブータン		1 (0)															1 (0)
ラオス										2 (0)							2 (0)
台湾		16 (12)	6 (4)	1 (0)													23 (16)
ケニア		1 (0)															1 (0)
コンゴ民主共和国		1 (0)															1 (0)
カメルーン		1 (0)															1 (0)
ナミビア		1 (0)															1 (0)
アメリカ合衆国		3 (2)															3 (2)
メキシコ		2 (1)															2 (1)
グアテマラ		1 (1)															1 (1)
ウズベキスタン		1 (0)															1 (0)
キルギス		1 (0)															1 (0)
トルクメニスタン		1 (0)															1 (0)
合計		173 (73)	28 (15)	115 (32)	28 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (0)	8 (7)	75 (62)	443 (218)

() 内の数字は、女子数で内数

3. 住居形態別留学生数

機関名 区分	福井大学	福井県立大学	福井工業大学	福井県医療福祉専門学校	仁愛大学	仁愛女子短期大学	敦賀市立看護大学	福井医療大学	福井工業高等専門学校	大東精器法律専門学校福井校	大東スポーツ医療保育福祉専門学校	福井情報ITクリエイター専門学校	福井ホテルラベル専門学校	若狭医療福祉専門学校	青池調理師専門学校	合計	
大学留学生会館等	43 (30)	1 (1)															44 (31)
学生寮	35 (15)								8 (3)					1 (1)	4 (4)	48 (23)	
大学等借上宿舎		6 (4)												6 (6)	71 (58)	83 (68)	
公営住宅		1 (1)														1 (1)	
民間企業の留学生寮																0 (0)	
アパート・マンション	87 (26)	19 (8)	112 (32)	28 (25)					1 (0)		1 (1)		3 (0)	1 (0)		252 (92)	
借家	5 (0)		3 (0)													8 (0)	
下宿																0 (0)	
その他（※）	3 (2)	1 (1)										3 (0)				7 (3)	
合計	173 (73)	28 (15)	115 (32)	28 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	6 (0)	8 (7)	75 (62)	443 (218)	

※渡日遅れにより住居形態が未定の留学生を含む。

() 内の数字は、女子数で内数

4. 国別・経費別・在籍別留学生数

区分 国名	国費留学生					外国政府派遣留学生				私費留学生					JICA	合計	
	学部	修士	博士	教職修士(専門職)	研究生	科別履修生	学部	修士	博士	研究生	学部	修士	博士	修士(専門職)	研究生(特別研究学生)	科別履修生(特別研究学生)	
インド														1			1
ネパール																	19 (19)
バングラデシュ	1	2			2						2	1					8
ミャンマー					1						1						2
タイ	1				1				1		9	2					14
マレーシア						33					18	3		1	1		56
インドネシア	1				1						7	1	2			1	13
フィリピン		1												1		66 (68)	
香港												1					1
韓国											9						26
モンゴル	1					2					2	1					6
ベトナム											41	1		4	27		73
中国											45	23	23	1	8	5	110
カンボジア	4										1	2					7
ブータン					1												1
ラオス	2																2
台湾											3	1			19		23
ケニア		1															1
コンゴ民主共和国											1						1
カメルーン													1				1
ナミビア				1													1
アメリカ合衆国														3			3
メキシコ				2													2
グアテマラ				1													1
ウズベキスタン												1					1
キルギス		1										1					1
トルクメニスタン																	1
合計	8	3	4	1	8	1	35	0	1	0	140	33	31	2	9	49	118 (0) 443
			25				36							382		0	

5. 外国人留学生の奨学金受給状況

国名 奨学金等名称	インド	マレーシア	インドネシア	香港	韓国	ベトナム	中国	カンボジア	台湾	コンゴ民主共和国	ウズベキスタン	トルクメニスタン	合計
(独)日本学生支援機構 文部科学省私費外国人留学生学習奨励費	1				1	1	7						10
(公財)ロータリー米山記念奨学会 ロータリー米山記念奨学金		4	2			1	2						9
(公財)江守アジア留学生育英会 外国人私費留学生奨学金		2		1	2	1	9		1				16
(公財)三谷育英会 外国人留学生奨学金							2		1		1	1	5
(一財)あしなが育英会											1		1
(公財)安田奨学財団							1						1
(公財)SGH財団		1					2						3
(公財)日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金		1											1
(公財)日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金(コロナ対応特別枠)								1					1
(公財)伊藤国際教育交流財団									1				1
(公財)KDDI財団		1											1
中国国家留学基金管理委員会							1						1
合計	1	9	2	1	3	6	22	1	2	1	1	1	50

編集・発行
福井県留学生交流推進協議会事務局

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号
TEL 0776-27-8439 FAX 0776-27-9715
(福井大学学務部国際課内)
発行:令和4年12月